

# 18切符で9時間かけ上京



役柄ではこわもてでも、普段はにこやか。自身の歩みを語る土平ドンペイさん=大津支局で

大部屋出身の俳優 土平ドンペイさん(52)=草津市②

## はい上がる人

### わたしが歩く

△1996年、俳優活動の舞

台を東京に移す。ほとんどうそ

はなく、手にした唯一の武器は

強烈なこわもてだ

R資料を作つて営業回りする

です。滋賀で3週間死ぬほどア

ルバイトして、残りの一週間は

東京ですね。一番安かった高円

寺(杉並区)のサウナに連泊し

て、制作会社を訪ね、プロデュ

ーサーの見当を付けて「京都で

役者をやっていた土平です。こ

ど相手にされないんですけど、

東京に行くたびに回るうち、ブ

ロデューサーがたまりかねて

「また来てるの?」この作品で

あることとなるんです。  
1日で終わる役が多く、夜行  
バスで前夜に滞在を出て、朝5  
時に着いて現場に行って、その  
日の夜行バスで帰ったり。バス  
代が出演料より高いんですけど、  
東京で活躍するには東京の  
監督と出会わなければなりません。  
△三池崇史監督の映画「極道

戦国志 不動」(1996年)  
にやぐざ役で出演し、三池監督

を最後に頼ることになる

「事務所で紹介いただけませ

ん。『もう一つよく利用したの  
が、年齢関係なく、在来線を1

日乗り放題できる「青春18きつ  
ぷ」だ。5日間利用でき、現在

は1万1850円。1日当たり

2370円で、東京へ行ける

★ 【エピソード】名前覚えの達人。

△1名前覚えの達人。滋賀県立

大津高等学校卒業後、東京へ

就職。元大津市役員の父によ

りまして、同社の作品で、キャ

スティングをしていた方が「王

平君、この作品も決めたし、こ

れも決めたしね」って、役(台

本に名前が載る役柄)を2、3

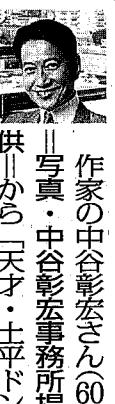
個入れてくれはって、お世話に

いでの時間ばかりかかるんです。

それでも嫌にならずに行き続

## 作家が感心し紹介

### 「恋人役やりましょう」——中谷彰宏さんメッセージ



作家の中谷彰宏さん(60)  
写真・中谷彰宏事務所提供

【同2】テニスコーチの達人。大津  
プリンスホテルでテニスのコーチをし  
ていました。トーグが面白いので、一  
番人気でした。役者の仕事が増えて、  
テニスコーチの仕事が減って、収入が  
減りました。1年中映画に出て、確定  
申告をしなければいけない額に達しな  
かつたので、愕然としていました。

【同3】アドリブの達人。あまりに  
アドリブが長いので、一緒にシーンだ  
と、僕までカットになるので、要注意  
です。

【メッセージ】また兄弟分の役をや  
りましよう。まだやってないおっさん  
です。そのスタッフの名前を「ドンペ  
ラブ」の恋人役も、やりましょう。

たことは、いずれ自分をほめた  
らなあかん。役者を一生の仕事  
にしたいという土平の原点は18  
切符やつて思うんです。

その頃、俳優活動もされてい

る作家の中谷彰宏さんとマンネ  
マでちうつと共演して、18切符  
の話をしたんです。3ヶ月もせ  
んうちに「土平君、本送つてね  
いたし」と連絡があった。何  
の本やう。10冊ぐらい届いて。  
「会社で教えてくれない50のこと」と  
ダイヤモンド社、PHP文庫。見てみたら、その一つ  
の章が僕の話なんですね。自分  
で読んで感動しました。

たとえば、本人も偉いが、「奥  
さんも偉い」とか。「見るから  
にヤクザ」だが、「話してみる

ことがあります」って。

△中谷さんは同じ章にこうも  
つづっている。「条件に恵まれ  
ない人のほうが、熱意がなく  
なつたり、現状に文句を言つこ  
とが多くなります」▽



会社で教えてくれない  
50のこと 中谷彰宏  
PHP文庫版の「会社で教えて  
くれない50のこと」。第1章で  
ドンペイさんが紹介されている